

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 男前モノタロウ 鉄粉配合パテ(速硬化タイプ) 主剤
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509 FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M180725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性固体	: 区分外
急性毒性 経口	: 分類できない
経皮	: 分類できない
吸入 (気体)	: 分類対象外
吸入 (蒸気)	: 分類できない
吸入 (粉塵およびミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分1 A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性 (急性)	: 区分2
水生環境有害性 (慢性)	: 区分2
オゾン層への有害性	: 分類できない

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・発がんのおそれ
- ・長期間にわたる、又は反復暴露による臓器(肺, 呼吸器系, 腎)の障害

- ・水性生物に強い毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

- ・火気注意
- ・着火源となる熱・火花・裸火、高温状態（300℃以上）等から遠ざけること。
- ・直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・開封後は速やかに使用し、保管する際は、容器蓋を密閉状態にすること。
- ・使用する前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全・注意に関する事項を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・取扱う際には、必要に応じて保護具・保護手袋を選定し着用すること。
- ・この製品を使用する際は、飲食と喫煙はしないこと。
- ・取扱い後は、よく手肌を洗うこと。
- ・汚染した衣類は通常の洗濯洗剤で洗濯すること。
- ・環境への放出を避けるよう適切な措置をとること。
- ・漏洩物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で10～15分間洗い流し、速やかに医師の診断／手当を受けること。
- ・皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・毛髪に付着した場合は、流水／シャワーで洗い流すこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気の吸入を避けること。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
- ・廃棄の際は正規の廃棄物処理業者へ委託するか、該当市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：エポキシ樹脂組成物

成分名	CAS No.	含有量※
エポキシ樹脂	25068-38-6等	20～30
鉄粉	7439-89-6	70～80
酸化鉄	1317-61-9	0.5～1.0
シリカ	7631-86-9 14808-60-7	0.1～0.2
添加剤・着色顔料	非公開	非公開

※法規制のあるものについて記載

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合及び弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、できるだけ早く医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。皮膚に触れた部分を直ちに拭き取り、水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使ってよく洗い落とす。必要に応じて医療処置を受ける。
- 目に入った場合 : 流水で15分間洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて吐き出させる。直ちに医療措置を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂、霧状の水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
大規模火災の場合は泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 消火を行う者の保護 : 耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、風上より作業する。危険区域での火気使用を禁止する。作業の際には保護手袋、前掛け、防毒マスク等を使用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され環境への影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 土砂、ウエス等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、土砂で流れを止め、下水、河川、低所へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。付着物、廃棄物等は、焼却するか廃棄物処理業者に正規の方法で委託し、処分する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意
- 取扱い 技術的対策 : 高温物、スパーク、火気を避け、強アルカリ、強酸性物等との接触を避ける。
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。
取扱の都度、容器を密閉する。
眼及び皮膚への接触を避けるため適切な保護具を着用する。
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗う。
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんでではない。
- 注意事項 : 火気厳禁
適切な保護具を身に付けて作業する
- 保管 適切な保管条件 : 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。火気厳禁を励行する。
- 安全な容器包装材料 : 現行容器のままで保管する。
8. 曝露防止及び保護措置
- 設備対策 : 密閉空間では局所排気装置を設置すること。保管の際は容器蓋を密閉状態にして冷暗所に保管すれば、通常は漏洩による曝露は生じない。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等のあることを確認し、その位置を明示する。
- 保護具 : 有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用。
9. 物理的及び化学的性質
- 外観 形状 : ペースト状
色 : 濃グレー色
- 臭い : 僅かなエーテル臭
- pH : データなし
- 融点／凝固点 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度（発火点） : データなし
- 燃焼又は爆発範囲の
上限／下限 : 特に爆発の問題なし
- 蒸気圧（mmHg） : データなし
- 蒸気密度（空気=1） : データなし
- 比重 : 2.7～3.0
- 溶解性 : 水にほとんど溶けない
- 分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 常温・常圧、密閉保管であれば安定
- 危険有害反応可能性 : 自己反応性なし
- 避けるべき条件 : 継続的な高温(50℃以上)、火花及び直火。混触禁止物質。低温状態(5℃以下)
- 混触禁止物質 : 強塩基(強アルカリ)類、強酸類、酸化性物質(酸化剤)、エポキシ樹脂硬化剤、重合開始触媒
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物、低分子有機化合物
11. 有害性情報
- 皮膚腐食性/刺激性 : 区2 皮膚刺激 区分2の成分(ビスフェノールA型エポキシ樹脂等)10%以上含有
- 眼に対する重篤な損傷
又は刺激性 : 区分2A 眼刺激性 区分2の成分(ビスフェノールA型エポキシ樹脂等) 10%以上含有
- 皮膚感受性 : 区分1 アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ 区分1の成分(ビスフェノールA型エポキシ樹脂等 1%以上含有)
- 発がん性 : 区分1 A 発がんのおそれ 区分1 Aの成分(結晶性シリカ) 0.1%以上含有
12. 環境影響情報
- 急性水生毒性 : 区分2 水生生物に毒性
- 慢性水生毒性 : 区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性
- 残留性/分解性 : 混合物としてデータなし
- 生体蓄積性 : 混合物としてデータなし
13. 廃棄上の注意
- 「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載項による。
- 廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。
- ・焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
 - ・都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
 - ・主剤と硬化剤を混合し硬化させて、都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
14. 輸送上の注意
- 国際規制 陸上 (RID/ADR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。
- 海上 (IMDGコード) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。
- 航空 (ICAO-TI/IATA-DGR) : 法令の基準に従い積載、運送を行う。
- 国連分類 : 該当せず
- 国連番号 : -

15. 適用法令

- 消防法 : 非危険物
- 労安法 通知物質 : 法第57条の2、施行令第18条の2 (シリカ, 酸化鉄)
- PRTR法 : 非該当
- 消防法 : 非該当
- その他 有害物質 : ビスフェノールA型エポキシ樹脂, ネオペンチルグリコールジグリシジルエーテル, 4級アンモニウム

16. その他

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。
本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。

ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 男前モノタロウ 鉄粉配合パテ(速硬化タイプ) 硬化剤
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509 FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M180725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 経口	: 分類できない
経皮	: 分類できない
吸入 (気体)	: 分類対象外
吸入 (蒸気)	: 分類できない
吸入 (粉塵およびミスト)	: 区分4
皮膚感作性及び皮膚刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 区分1
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 分類できない
授乳に関する注意	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分2
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
水生環境有害性 (急性)	: 区分2
水生環境有害性 (慢性)	: 区分2
オゾン層への有害性	: 分類できない

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

- ・吸入すると有害
- ・重篤な皮膚の薬傷
- ・重篤な眼の損傷
- ・吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

- ・火気注意
- ・着火源となる熱・火花・裸火、高温状態（300℃以上）等から遠ざけること。
- ・直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・開封後は速やかに使用し、保管する際は、容器蓋を密閉状態にすること。
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全・注意に関する事項を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・取扱う際には、必要に応じて保護具・保護手袋を選定し着用すること。
- ・この製品を使用する際は、飲食と喫煙はしないこと。
- ・取扱い後は、よく手を洗うこと。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・汚染した衣類は再使用する場合は洗濯すること。
- ・環境への放出を避けるよう適切な措置をとること。
- ・漏出物を回収すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること。
- ・眼に入った場合は、流水で10～15分間洗い流し、速やかに医師の診断／手当を受けること。
- ・皮膚についた場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・毛髪に付着した場合は、流水／シャワーで洗い流すこと。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気の吸入を避けること。
- ・飲み込んだ場合は、水で口の中をよく洗浄すること。
- ・気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。
- ・廃棄の際は正規の廃棄物処理業者へ委託するか、該当市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：変性脂肪族ポリアミン組成物

化学品名	CAS No.	含有量(%)※
変性脂肪族ポリアミン	非公開	非公開
メタ-キシレンジアミン	1477-55-0	5～8
トリエタノールアミン	102-71-6	5～8
4-ターシャリーブチルフェノール	98-54-4	30～35
ピペラジン	110-85-0	1～2
シリカ	7631-86-9	非公開

※法規制のあるものについて記載

4. 応急処置

- 吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。呼吸が止まっている場合及び弱い場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、できるだけ早く医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。皮膚に触れた部分を直ちに拭き取り、水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼を使ってよく洗い落とす。必要に応じて医療処置を受ける。
- 目に入った場合：流水で15分間洗浄した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水が良く行き渡るように洗浄する。
- 飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗浄する。可能であれば、多量の水を飲ませて吐き出させる。直ちに医療措置を受ける。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂、霧状の水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 火災時の特有の危険有害性 : 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。
- 特定の消火方法 : 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
大規模火災の場合は泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。
消火作業は風上から行い、必ず保護具を着用する。
関係者以外は安全な場所に退避させる。
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 消火を行う者の保護 : 耐熱性着衣などを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 周囲にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止し、
風上より作業する。危険区域での火気使用を禁止する。
作業の際には、保護手袋、前掛け、防毒マスク等を使用する。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され環境への影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 土砂、ウエス等に吸着させてできるだけ除去し、密閉できる空容器
に回収する。大量の場合は、土砂で流れを止め、下水、河川、低所
へ入り込まないように、安全な場所に導いて回収する。付着物、廃棄
物等は、焼却するか廃棄物処理業者に正規の方法で委託し、処分す
る。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となりそうなものを速やかに取り除く。着火した場合
に備えて、適切な消火器を準備する。

6. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 高温物、スパーク、火気を避け、強アルカリ、強酸性物等との接触
を避ける。
局所排気装置の設置等、通気の良い作業場所を確保する。
休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後には手、顔
等をよく洗う。
休憩場所には、手袋等の汚染された保護具を持ちこんではならな
い。
- 注意事項 : 火気厳禁
適切な保護具を身に付けて作業する。
- 保管 適切な保管条件 : 容器の蓋を密閉状態にし、直射日光の当たらない冷暗所に置く。
火気厳禁を励行する。
- 安全な容器包装材料 : 現行容器のまま保管

7. 曝露防止及び保護措置

設備対策 : 密閉空間では局所排気装置を設置すること。保管の際は容器蓋を密閉状態にして冷暗所に保管すれば、通常は漏洩による曝露は生じない。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等のあることを確認し、その位置を明示する。

保護具 : 有機ガス用防毒マスク、化学薬品が浸透しない保護手袋、保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）、長袖の着衣、必要に応じて長靴、耐油性の合成樹脂又はゴム製の前掛け、腕カバー等を着用。

8. 物理的及び化学的性質

外観 形状 : ペースト状
色 : 淡黄色
臭い : アンモニアに類似した臭気
燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : 特に爆発の問題なし
比重 : 0.8~1.1
溶解性 : ごく微量溶解
分解温度 : データなし

9. 安定性及び反応性

安定性 : 常温・常圧、密閉保管であれば安定
危険有害反応可能性 : 酸、酸化剤、エポキシ化合物と反応し発熱する。

避けるべき条件 : 高温、火花及び直火、混触禁止物質。
混触禁止物質 : 強酸、エポキシ化合物
危険有害な分解生成物 : データなし

10. 有害性情報

急性毒性 経口 : 分類できない
吸入 : 分類できない
経皮 : 区分4 皮膚に接触すると有害

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2 皮膚刺激（メタ-キシレンジアミン、ピペラジン等の情報より）

眼に対する重篤な損傷
又は眼刺激性 : 区分1 重篤な眼の損傷（メタ-キシレンジアミン、4-ターシャリーブチルフェノール、ピペラジンが3%以上含有）

呼吸器感作性 : 区分1 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ（ピペラジン 1%以上含有）

皮膚感作性 : 区分1 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ（メタ-キシレンジアミン、4-ターシャリーブチルフェノール、トリエタノールアミン、ピペラジン等が1%以上含有）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分2 臓器（全身毒性）の障害のおそれ（メタ-キシレンジアミン1%以上含有）

11. 環境影響情報

急性水生毒性 : 区分2 水生生物に毒性
慢性水生毒性 : 区分2 長期継続的影響によって水生生物に毒性
残留性/分解性：混合物としてデータなし
生体蓄積性：混合物としてデータなし

12. 廃棄上の注意

「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載事項による。

廃棄は焼却により行うが、その方法は次のいずれかによる。

- ・焼却炉の火室へ投げ込み焼却する。
- ・都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。
- ・主剤と硬化剤を混合し硬化させて、都道府県知事の許可を受けた廃棄物業者に正規の方法にて委託し、処分する。

13. 輸送上の注意

国際規制 陸上 (RID/ADR)	: 法令の基準に従い積載、運送を行う。
海上 (IMDGコード)	: 法令の基準に従い積載、運送を行う。
航空 (ICAO-TI/IATA-DGR)	: 法令の基準に従い積載、運送を行う。
国連分類	: 該当せず
国連番号	: -

14. 適用法令

消防法	: 非危険物
P R T R法	: 4-ターシャリーブチルフェノール
労安法 表示物質	:
労安法 通知物質	: 第57条の2、シリカ、メタ-キシレンジアミン、トリエタノールアミン
その他有害物質	: 4-ターシャリーブチルフェノール、ピペラジン

16. その他

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取扱って下さい。ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。